頑張っている人物やグループを広報編集委員が紹介します。…担当／久保 きみ

女性消防団 香南のなでしこ花

私たちに任せちょき！女性の目線でまちを守る

「自分たちの住むまちは自分たちで守る」地域の防災リーダーとして活動している消防団。そこには10人の女性消防団員がいます。女性ならではの、優しくきめ細やかな活動をされている香南市の「なでしこ」を紹介します。

左から夜須消防団女性部／野本千津、露木理恵、清遠紀子、青木美奈（部長）
野市消防団佐古分団／入野幸江、真島琴子、入野由香、富家分団／福井千鶴
写真に掲載されていない方、夜須消防団女性部／野本明美
野市消防団佐古分団／片岡慶子　（敬称略）

香南市には5つの消防団があり、そのうち夜須と野市消防団には、現在それぞれ5人ずつの女性消防団員がおり、その中には、ラッパ班で活躍されている姉妹もいます。

夜須の「なでしこ」

夜須では、平成17年に「夜須消防団女性部」として発足。部長の青木美奈さんは「消防団にあこがれていたら、偶然女性の募集があることを知り飛び込みました」とニッコリ。以後、仲間集めに奔走しながら、活動に取り組まれています。

活動内容は、地域の学校、保育所、福祉施設などに出向き紙芝居を使った防火啓発、消火器の使い方や応急手当ての講習会など。そして平成19年からは一人暮らしの高齢者宅の訪問もはじめ、家電製品の使い方や火災予防についての話をされています。加えて、高齢者の健康状態のチェックや普段飲んでいる薬のこと、緊急連絡先の確認など、どのように活動をしたらよいのか、試行錯誤しながら取り組まれています。

野市の「なでしこ」

野市では、平成23年に入団した入野幸江さんが女性第一号。「女性防火クラブ」の一員として活動されていましたが、「どうしても消防団員になりたい！」と団長に直談判。しかし前例のないことを理由に却下。それでも粘る入野さん。「いや、待てよ…これからの時代、女性の目線や立場で、地域貢献できることもあるはず」と見事、団長を口説き落とし入団に成功！

早速、仲間を募り、昨年の12月で女性団員は5人になりました。これまでは男性に交じり、消火・救急訓練や広報活動などを行ってきましたが、仲間が増えたので、これからは夜須のように女性団員としてできることを取り組みたいと計画中。

女性パワーに期待

全国的に消防団員の数が減少している中で、女性団員は増加しています。これは、災害等に直接対処するだけでなく、広報活動や災害弱者対策にも、女性の力が大いに期待されている証し。今後は地域の垣根を越え、合同で行える活動企画もたてていきたいと、明るい笑顔の皆さん。一緒に活動できる女性団員募集中とのこと。あなたも、なでしこパワーで地域を守りませんか？

問い合わせは、消防本部（☎55-4141）まで

夜須消防団女性部企画講演会

- 演題　「災害に負けない体づくり」
- 講師　清岡亜美さん（田野病院・通所リハビリ）
- 日時　平成24年2月25日（土）　午後1時30分～3時30分
- 場所　夜須町福祉センター2階大ホール
- 対象　夜須町全域の高齢者
- 主催　夜須消防団女性部

救出活動の救世主 「香南式ショアリングシステム」の考案チームに表彰状

昨年12月28日（水）、倒壊家屋を支える補強機材「香南式ショアリングシステム」を考案した、香南式ショアリング開発プロジェクトチームに、香南市長より表彰状が渡されました。

この補強機材の開発により、二次倒壊を防ぐことができ、安全な救出活動ができると期待されています。

■問い合わせ　消防本部　☎55-4141

市長より表彰を受けるチーム代表の消防本部職員

編集後記

▼はじけんばかりの笑顔の華が咲いた成人式。たくさん撮影した写真には、新たな門出に将来への夢や希望を膨らませ、自分の歩む道を示してくれました。チャレンジ精神と強い絆、そして二十歳のチカラで、日本を元気に！

（広報編集委員会）

《広報へのメール》kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》http://www.city.kochi-konan.lg.jp

香南市広報「こうなん」平成二十四年二月一日発行
〒781-5292 高知県香南市野市町西野二七〇六 TEL（0887）五六-〇五一一
■編集・香南市広報編集委員会
■発行・香南市役所
■印刷 高知新聞総合印刷